



高山市政クラブ
榎隆司議員

子育て支援・道路等の整備について

子育て支援に必要なものは

囲早期の弱視発見の対策として専用機器を導入しては。

答 健診にて視力の異常を早期発見し、治療につなげることは大変重要である。現在実施している視力検査は時間がかかることや、片目を隠すことを嫌がるお子さんに対して検査ができないといった問題がある。検査機器による屈折異常検査は短時間で行うことができ、母子への負担も少ないことから、絵カードを使った視力検査と組み合わせて、より精度の高い眼科検診が実施できると考えており、機器の導入について検討する。

道路整備について

囲 市道八日町下林線に未改良区間があるが今後の取り組みは。

答 現状は交通量が少ないことから、当該市道の改良計画はない。

囲 当該市道は、交通量が少ないのは未改良が原因と考える。当該市道には水路の畦地や未舗装の部分を整備することで利用しやすい道路になると考えるが。

答 道路や水路の用地の中で、有効な整備について、まちづくり協議会と相談していく。



高山市政クラブ
渡辺甚一議員

今回の豪雨・台風災害で多くの被害が出たが対応は

囲 台風でハウス農家は廃ビニール処理やパイプハウスの撤去や復旧にかなりの労力がかかるが支援できないか。

答 廃ビニールについては農家の負担が軽減できるよう検討をしている。また、復旧の支援では要件を満たしていれば10aあたり3.6万円程度支援される。

囲 損壊したハウスの購入支援はできないか。

答 農作物災害対策事業で対応した場合は3分の1の補助がある。農業共済の支払いと合わせ新しい物で約90%古い物で約50%となる。

囲 土砂災害では民地における復旧支援がないが、個人対応では経済負担が大きく市独自の支援制度はできないか。

答 一定以上の被害者世帯に災害見舞金を支給しているが民有地の災害での支援制度はない。園林道・作業道等での災害が多く発生し、倒木被害もあるが早急な復旧支援はできないか。

答 林道は迅速な対応が必要な箇所は対応している。作業道管理は原則森林所有者である。今回被害が多いため県へ支援施策の創設を要望した。

囲 三福寺町の最終処分第1次埋立地は、跡地活用のランドデザインでは公園や運動公園になっているが、周辺山林を環境保全から里山指定できないか。

答 周辺の山林については埋立地と一体的な観点に立って、どのような方法で緑地保全するか考える。

度重なる嚴重注意 議員のSNS

経緯・経過

谷澤議員が小学校の運動会を視察した際、子どもの顔写真掲載は十分配慮いただきたい旨を全員にアナウンスされたにもかかわらず、自身のフェイスブックに写真を掲載。その後

学校長より削除要請を行ったが、数日間放置されたため、PTA会長より議会事務局に連絡が入り写真の一部を削除したものの。

議会はこれまでの同議員の行動や3月に同様の案件を含む内容での嚴重注意を行っており、議会運営委員会において、その対応を協議することとした。

● 議会運営委員会の決定事項
9月27日の委員会において次のとおり議会の対応を決定。
● 定例会最終日に議会運営委員長から経緯及

び委員会における議論の結果について報告
● 議場において議長より谷澤議員に対し嚴重注意を行う。
● 議長から全議員に対しSNSの取り扱いについて注意喚起を行う。

議会の対応

議員のSNS利用については、8月1日発行のぎかいだより第32号においても、議会全体としてコンプライアンス遵守に努めると言明した経緯もあり、このような案件が発生したことを反省するとともに、今一度、肖像権の考え方、掲載時における承諾の徹底など、更なるコンプライアンス遵守に努めます。

今後、SNSの利用については、法令順守・倫理といった内容の議員研修会の必要性についても検討します。